

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX049-272-7092 ホームページ <https://hatoyama.info/>



活動報告

■ピザ窯周辺の草刈りを実施

5月21日(日) 9時集合で、ピザ窯周辺の草刈りを行いました。初参加の方を含め7人で作業開始。主に、ピザ窯と墓地脇のクルマを停めれる土地との境部分の草刈りと、腐木の移動を行い、次回作業日にピザ窯のところに上がる階段を作るためのスペース確保をしました。ヤマユリを残すためにヒモで周りを囲ったのですが、手違いで一部刈ってしまいました。地主さんにもお詫びの報告をして、今度、一緒に草刈りをするようになりました。

というわけで、成果もあり、反省点もありのスタートでしたが、お昼には、初参加の方の差し入れの食材をトッピングした焼きたてピザを味わい、穏やかな天気恵まれ、いい一日を過ごすことが出来ました。

■はと麦苗の植付



5月17日(水) 午前中、今年もはと麦の苗の植付をしました。参加者は5人。ミニ耕耘機で作業が出来るように畝と畝の間を広げました。植付した翌日にうまい具合に雨が降り、しっかり根付いた様子でひと安心。

■2022年度総会を開催

5月23日(火) 午前10時～12時、かわせみハウスで、2022年度総会を開催。出席定数を満たし審議に入り、2022年度事業報告・収支報告、2023年度事業計画・収支予算書、および今年6月1日以降2年任期の理事名簿も満場一致で承認されました。

■埼玉県生態系保護協会支部へ回答文書を送付

4月7日に埼玉県生態系保護協会東松山・鳩山・滑川支部の小山正人支部長から「トラスト3号地の作業はノスリの営巣に影響があるので控えてほしい」との要請がありました。その対

応を理事会で協議し、5月14日付で、下記の内容の回答メールを送りました。今後も支部とは活動連携を行っていきます。

小山正人様

熊井の森トラスト3号地での当フォーラム活動について

問題点ご指摘、また丁寧な根拠などご提示いただきありがとうございます。当方の「熊井の森通信」でトラスト3号地での活動としていますが、実際にはピザ窯周囲のネザサなどの刈払いを意図しておりました。この活動範囲については、4年程前から地権者からピザ窯周辺にご厚意でお借りしており、地権者の要望もあり、ピザ窯周辺、栗林隣接斜面を刈払いしてきました。今年もその例年の活動として実施する予定です。

ご理解をいただけますようお願いいたします。

また、辻川右岸のクズ密生地が地元活性化委員会でも課題になっており、「ちよっくま」から現在通行止めになっている辻川の橋(小峰さん墓地に至る道の橋)のあたりまでの一部刈払いも9月以降の予定になっています。以上、取り急ぎメールしました。今後ともよろしくお願いいたします。

愛場謙嗣 NPO法人 はとやま環境フォーラム

■第16回エコフェスタ比企in鳩山

5月27日(土) かわせみハウス前で開催。出店数11。環境フォーラムは新刊本コーナーの設置のほか、熊井の森ガイドマップや熊井の森の生きものたちの写真パネルなどを展示し、「写真展カタログ」も販売。スタッフにはカレーライスを昼食に。



今年の秋は熊井の森にキノコを採りに行こう

上田恵介（日本野鳥の会会長 鳩山町在住）



▲熊井の森のモミの群落 環境省「特定植物群落」指定

はじめに告白しておくが、私は熊井の森とはあまり深いお付き合いはしていない。もう30年以上も鳩山に住んでいて、地域活動には少しだけ関わってきたのだが、熊井の森を歩いたのは10回未満に過ぎない。けれど熊井の森はとてもいい森だと思う。その理由のひとつが熊井の森にはモミの大木がたくさんあるということである。

あまたある針葉樹の中で、モミの木はいい。スギやヒノキなど、モミと同じ針葉樹たちと比較してみると、モミの木にはどっしりしていて、樹形に整った美しさがあると感じるのは私だけだろうか。モミの木がクリスマスツリーとして好まれる理由も多分そこにあるような気がする。

もう一つ、私とモミのつながりはキノコにある。東松山に住んでいる友人のUさんはキノコ取りの名人である。そのUさんが熊井の森のモミの根元にアカモミタケというキノコが生えるのを教えてくれた。そしてUさんは秋になるとアカモミタケをよく持つ



てきてくれた。アカモミタケは淡い朱色の美しいキノコである。肉質はかなり柔らかく、乱暴に扱っているとポロポロと崩れてしまうようなキノコなので、あまり知られていないが、さっぱりしたキノコらしい味で、バター炒めで食べるとビールのつまみにもよくあう。初めは時々取りに行っていたが、最近はいよいよ面倒になって、もっぱらUさんが持ってきてくれるのを待っているだけになってしまった。

熊井の森にはタマゴタケもよく出る。真っ赤なタマゴタケはキノコを知らない人にはとんでもない毒キノコに見えるが、

とてもおいしい優秀な食菌である（写真）。



▲森の忍者ミソゴイ

鳥はどうだろう。熊井の森には猛禽類のサシバやサギの仲間で森林性のミソゴイというサギが生息している。サシバもミソゴイも昔は里山を代表する鳥であったが、近年、すっかり減少してしまって、地域によってはその姿も見られなくなっている。

こうした鳥が棲んでいるということは、熊井の森では里山の健全な生態系が機能しているということである。

今年の秋は、久しぶりにアカモミタケを採りに行ってみよう。



▲熊井の森自然学校 中央が講師の上田さん（2021年7月）

ニハオ 熊井の森歳時記

「蛍狩り」、いつかまたできるかな

小学生だったある夏の夜、お婆ちゃんちの庭先の草むらにピカピカと光っていたものがあるのに気づいた。虫模様でちょっと不気味。あれがホタルの幼虫だよとお婆ちゃんに教えてもらったが、当時の私はどうしてもそれと夜空に優雅に飛び舞うホタルと結びつかなかった。



年が経つにつれて、いつの間にかホタルの姿が見えなくなっていた（人為的な繁殖を除く）。日本においても同じようである。主にきれいな水辺や森林など暗い場所に生息しているホタルは、自然環境のバロメーターと言われるようにとても繊細な生きもので、その数は環境の変化や農薬の濫用や光害などの原因で年々減っている。中国の古典物語「囊螢」の故事（晋の車胤（しゃいん）は家が貧しくて照明用の油を買えなかったため、ホタルを集めて袋に入れ、その光で読書した）はとくに昔のものになったが、日本の夏の風物詩「蛍狩り」も、いずれ過去のものになってしまうかもしれない。

現在、夏が来るたび、昔の「蛍狩り」が「ホタル観察会」と名前を変えて盛んに行なわれている。ホタルが放った幽玄な光、夢のような美しい光景が子供に喜びと感動、大人に蛍雪の郷愁と癒しを与える。その代りに、ホタルのために人間が何かを出るかを考えなければならない。（王 菲）

熊井の森畑日記 ハトムギものがたり④

畝幅を広げて600本ほどを植付

今年4月27日に苗づくりを始め、20cmほどに伸びた株を、5月17日に5人で植えつけた。2日前に雨が降ったので土が少し湿っていて、植え付けに最適な状態だった。

植え方は、畝は立てずに、一か所に苗と苗の間を少し離し2本ずつ植え込む、次の株との間は50cmほどにした。畝と畝の間は70cm空けた。この長さは、教えてもらった間隔よりも広目なのだが、これからの時期の雑草取りを耕運機で行おうと考えていたのでこれくらいの広さが必要かなと考え、試してみた。

5人が参加してくれた作業はどんどん進み、途中休憩しながら2時間30分ほどで植え付けが終了した。

苗を数えてみると、一畝に約50本、畝数が12本なので600株ほど。苗づくりの時に1000粒撒いたから、約60%の発芽率ということになる。今年はちょっと低かったかもしれないな、どうだったんだろう。

また今年の新しい試みとして、有機肥料も科学肥料も施さない無肥料で栽培する一畝をつくり、苗38本を植えた。「子ども



がアトピーなので、無農薬無肥料のものを探している」との声が届き、なるほどそういうこともあるのだなあと思い試してみた。どんな違いがあるのかなあ、楽しみ。

（嵯峨 千代美）

熊井の森トラスト地紹介 第4号地



地番／鳩山町熊井1495
面積／2973㎡ 地目／山林
取得年月／2021年10月



▲トラスト4号地の雑木林

トラスト4号地はピザ窯入口から登ったP10ポイントを起点に、トラスト1・2号地に向かう左側トレイルの先にあるP11ポイントと、山の神の石碑に向かう稜線のP9ポイントを結ぶ三角形の場所にある。P9ポイントから熊井の森の頂上（P4ポイント）までの稜線のトレイル沿いにはモミの木が林立し、まさに「熊井の森のモミ群落」の心臓部分にあたる。

熊井の森には町道もあり、散策に訪れる人やオフロードバイクの出入りもあるが、ノスリやオオタカなど猛禽類の営巣地としての環境も整っていて、保護すべき植物も多い。

熊井の森へのアクセス



【バス】東武東上線「高坂駅」西口広場で町営路線バス「越生駅・上熊井方面行」8:15発（約20分）に乗車→「上熊井」バス停下車、徒歩3分。

【クルマ】関越自動車道坂戸西スマートIC下車 → 鳩山町役場 → 鳩山駐在所を左折し県道41号線を越生方向に走ると、左側に上熊井農産物直売所（ちょっくま）あり。そこから熊井の森へ。

ここは、第15～17期ナショナル・トラスト活動助成制度（令和元～3年度）により、特定営利活動法人はとやま環境フォーラムが取得した森です。

熊井の森トラスト基金へ支援金を

■ゆうちょ銀行 振替口座
記号番号 00210-4-143207
加入者名 熊井の森トラスト基金
■ゆうちょ銀行 支店 O三八 普通口座
口座番号 9472664
口座名義 クマイノモリトラストキーン
（熊井の森トラスト基金）

編集雑記 モミの木 明治維新後の大気汚染等で江戸の町からモミが失われ、埼玉県下でも現存するモミ群落は熊井の森など5か所のみ。キノコ 埼玉県は鳩山町・ときがわ町・横瀬町・皆野町の4町での「野生キノコ」の「出荷制限」を継続。キノコに含まれるセシウムで癌になる

確率と、日本の都市部で生活して、日々、有害物質に晒され続けていて癌になる確率を比較したらどうなのか。「本当に危険なものは何かさえ知っていれば、無闇に怖がることはない」という意見もある。コロナのワクチン接種にも賛否両論あり。ご意見をお寄せください。（愛場）